

担当教員授業題目	地質学巡検（富山大学）			担当教員	大藤 茂
英文授業名	Geology excursion			副担当教員	
単位数	2	講義期間		曜日・時限	対象学年
授業形態	野外実習	備考			
<p>(1)授業のねらい</p> <p>(a) 四国（西南日本外帯）のペルム紀～新第三紀（約2.5億年間）付加体，(b) 付加体起源の三波川変成岩類，(c) 黒瀬川帯の浅海成層などを野外で直接観察し，日本列島形成史を自分で考察することが目的である。</p> <p>(2)授業の概要</p> <p>メールによるガイダンスおよびガイドブックの作成・提出を経て，6泊7日の野外実習を行う。</p> <p>(3)授業計画</p> <p>メールによるガイダンス（7月下旬）担当教員は，巡検の概要，計画，ガイドブックの作成担当などを，詳細にメールで受講者へ伝える。また，受講者の質問や相談も受けつける。</p> <p>ガイドブックの担当部分作成（8月～9月中旬）受講者は，夏休み期間に自習でガイドブックの担当部分を各自作成し，担当教員へ電子ファイルで提出する。自習とはいえ，メールによる質問は随時受けつける。</p>			<p>（授業計画の続き）</p> <p>巡検（9月25日（日）～10月1日（土））主な観察対象は，(a) 秩父累帯：ペルム紀～前期白亜紀付加体および前期白亜紀構造帯（黒瀬川帯），(b) 四万十帯：後期白亜紀～前期新第三紀付加体，(c) 三波川帯：四万十帯の後期白亜紀付加体を原地質体とする高圧型変成帯，(d) 中央構造線：西南日本を内帯と外帯に二分する大断層，(e) 西南日本内帯：上部白亜系和泉層群，瀬戸内火山岩類など。</p> <p>(4)成績評価の方法</p> <p>野帳から，観察力（観察事実の記載の量と正確さ）と論理的考察力を読み取り，評価する。</p> <p>(5)履修上の注意</p> <p>受講者は，地質学の基本的知識を有することが望ましい。担当教員へ知らせてもよいメールアドレスを必ず有すること。5万円ほどの参加費用（実費のみ）がかかる。</p> <p>(6)質問，相談への対応</p> <p>メール連絡による：shige@sci.u-toyama.ac.jp</p>		
【教科書】		【参考書】日本の地質8「四国地方」共立出版（ISBN4-320-04615-3）			